



きっずぷらす通信 10月号

つうしん

はっこう れいわ ねん がつ
発行：令和4年10月

だんだん日が暮れる時間が早くなってきました。新学期が始まり 1 ヶ月が経ち、学校生活のリズムに慣れてきた頃でしょうか？ きっずぷらすでも楽しく過ごせるような活動を考えていきたいと思ひます(^)/

今月の活動



9月は、『勝ち負けのあるあそび』をしました。ジェンガやボーリング等の勝ち負けのあるゲームに取り組み、勝ち負けの場面での振舞い方を学びました。

事前に、ゲームに負けたときの振舞い方（負けても泣かない・怒らない、ふわふわ言葉で楽しく遊ぶ等）の約束をしてから遊びました。

ゲームに負けたときには「まあいっか！」と気持ちを切り替えたり、負けてしまったお友達に対して

「もう1回する？」と声をかけて気遣う姿がたくさん見られ、お子様の成長を感じられる活動になりました！

TOPICS

《会話の中で、一方的なやりとりが多い…。》

ご家庭でお子様とお話をする際、**お子様が自分のお話ばかりしてしまうけれど、伝え方が難しい…。**

ということはありませんか？

今回は 会話が一方的になってしまう要因と、その対応の一例をご紹介します。

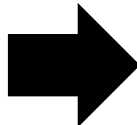


【要因の例】

①会話にはマナーがあること（例：話しても良いタイミング・そうではないタイミングがあること）に気づきづらい。

*マナーには、人が話し終わってから話す等の暗黙の了解や、他者がどう思うかという視点が入るため。

②相手の興味のあることに関心を持ちづらく、自分が好きなことについての話ばかりをしてしまう。



【対応方法の例】

①「今は、お母さんが話してるから、聞いてね。」と、相手の話を聞くタイミングがあることを知らせる。
※この時、“今鉛筆を持っている人が話す番”といった共通の目印を決めておくとうかりやすいかと思ひます(^)

②「昆虫の話をしたいいんだけど、聞いてくれる？」等、自分の好きな話題を話してよいかを確認してから話したほうがよいいことを知らせる。

会話のマナーについて伝えた時、すぐに行動に移すことが苦手なお子様もいらっしゃるかと思ひます。ご家庭でお気付きの都度お子様に声をかけていただけると、次第にマナーを身につけていけるかと思ひます。上記は一例ですので、ご不明点等ございましたら、お気軽に職員にお声かけください(*^*)